

第7回アフリカ開発会議横浜開催 半年前企画

- ・市営バスをラッピング！TICAD7号が運行します
- ・「アフリカの子どもたちが描く未来」展開催！

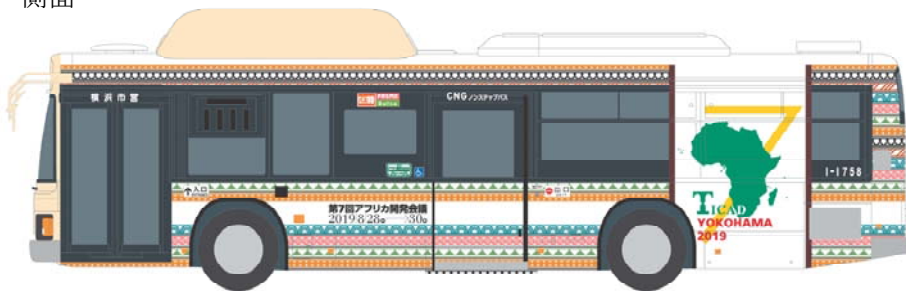
第7回アフリカ開発会議横浜開催まで、2月28日(木)で残り半年となります。市全体でさらに機運を高めていくため、市営バスをアフリカ開発会議の公式ロゴ等でフルラッピングした「TICAD7号」を運行します。

また、「アフリカのきれいな街プラットフォーム」に関連して、アフリカの子どもたちが描いた「環境絵日記」を展示する「アフリカの子どもたちが描く未来」展を開催します。

【TICAD7号の運行について】

第7回アフリカ開発会議（TICAD7）の公式ロゴと、横浜開催イメージイラストを基調とし、バスの側面、背面、天井をアフリカのイメージでフルラッピングした「TICAD7号」が運行します。

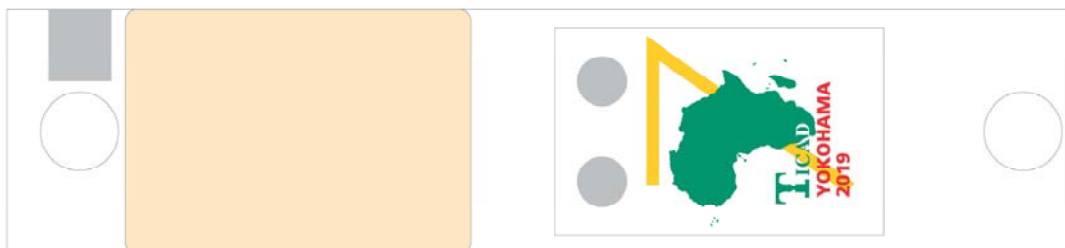
側面



背面



天井



- 1 期間：平成31年2月25日(月)～平成31年8月30日(金)
- 2 経路：横浜市営バス浅間町営業所 所管の路線（横浜駅周辺）
- 3 台数：1台

裏面あり

【「アフリカの子どもたちが描く未来」展について】

「アフリカのきれいな街プラットフォーム」に関連する、横浜市資源循環局・JICA・青年海外協力隊が連携して、アフリカの子どもたちに、「環境絵日記」を描いてもらい、その絵日記が横浜に届きました。

子どもたちの素直な目を通して描かれた絵日記と、作成した子どもたちの笑顔の写真をご覧ください。



アフリカの子どもたちが描いた環境絵日記



現地の子どもの取組の様子

1 展示期間

平成 31 年2月 28 日(木)～平成 31 年3月3日(日)

10:00～18:00(初日は 12:00 開始、最終日は 17:00 終了)

2 場所

パシフィコ横浜 展示ホール1F コンコース (「CP+2019」会場内)

3 展示内容

アフリカ4か国(ブルキナファソ、ボツワナ、スーダン、カメルーン)の子どもたちが描いた「環境絵日記」8作品及び作成した子どもたちの写真

「アフリカのきれいな街プラットフォーム」(ACCP) 概要

ミッション:2030 年までにアフリカ諸国がきれいな街と健康な暮らしを実現し、廃棄物に関する SDGs を達成する。

目的:アフリカ各国・都市における廃棄物に関する知見・経験の共有、関係者のネットワーキング等

構成員:アフリカ各国・都市(現在 35 か国 64 都市)、環境省、JICA、横浜市、国連環境計画(UNEP)、国連人間居住計画(UN-HABITAT)等

「環境絵日記」概要

横浜市資源リサイクル事業協同組合が行っている取組です。

絵日記を通じて、家族や身近な人たちと話すきっかけを作り、子どもたちの環境意識を育むもので、近年は環境以外の社会問題に対する解決策の提案も多く、SDGs の 17 ゴールと親和性の高いものとなっています。



アフリカ開発会議(TICAD)とは

日本政府が主導し、国連、国連開発計画(UNDP)、アフリカ連合委員会(AUC)及び世界銀行と共同で開催するアフリカの開発をテーマとした国際会議です。2008年の第4回、2013年の第5回に続いて、第7回は2019年8月28日～30日に横浜で開催されます。我が国が主催する最大規模の国際会議で、第5回会議には、国家元首・首脳級を含む約4,500名以上が参加しました。

お問合せ先

国際局国際連携課アフリカ開発会議担当課長 鈴木 真実 Te1045-671-4713